

事 務 連 絡
令和6年5月17日

愛媛県建設関係団体長 様

愛媛県土木部土木管理局土木管理課
技術企画室長

第8回インフラメンテナンス大賞の応募について

標記について、四国地方整備局から応募案内がありましたので、お知らせします。

貴市町にて該当案件がございましたら応募をご検討ください。なお、応募の際は専用のWEBフォームにより行って頂きますが、その際には、県にも情報提供頂きますようお願いいたします。

記

○応募期間

令和6年5月10日（金）～令和6年7月12日（金）

○応募方法

WEB フォームで提出

応募ページはこちらから ⇒ <https://www.im-award-form.jp/index.html>

○今後の予定

令和6年冬頃 受賞者発表・表彰式実施

【参考】本省HP

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000331.html

【愛媛県担当】

愛媛県土木部土木管理局土木管理課技術企画室

酒井（内線 4300）

089-912-2647

gijutsukikak@pref.ehime.lg.jp

第8回インフラメンテナンス大賞

インフラメンテナンスで日本の国土を守る



インフラメンテナンス大賞とは

日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に実施するものです。

【写真提供】 山崎エリナ（やまさき・えりな）

写真家 兵庫県神戸市出身。パリを拠点に3年間の写真活動に専念する。40か国以上を旅して撮影を続け、写真集多数。

2018～2022年は「山崎エリナ写真展 インフラメンテナンス」を福岡、新潟、大阪、東京ビックサイト（社会インフラテック）など全国各地で開催。

橋梁、トンネル、道路のメンテナンス現場を撮影した写真による広報活動は、第3回インフラメンテナンス大賞 優秀賞を受賞。

2022年度にはこれまでの取り組みの成果が評価され、土木学会のインフラメンテナンス 特別賞を受賞。

写真集に「インフラメンテナンス」、「Civil Engineers」、「トンネル誕生」、「数に生きる」、「アグアライン」、「ローカルゼネコンの素顔」などがある。エールを込めた曲「この空の下で」（作詞作曲・歌 ヤマサキエリナ）も音楽配信中。

【撮影協力】 大阪府池田市上下水道部

令和6年7月12日（金）締切

エントリーはWEBから

インフラメンテナンス大賞



主催／総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省

第7回「インフラメンテナンス大賞」大臣賞 受賞案件



第7回の大賞、特別賞、優秀賞の各案件はこちらからご覧いただけます。



内閣総理大臣賞
レーザー分光式検知器と専用ナビの活用による漏えい検査の効率化
大阪ガスネットワーク株式会社

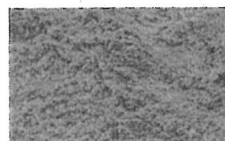
情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞
3D画像処理およびAIを活用した港湾構造物の維持管理トータルシステム
五洋建設株式会社

厚生労働大臣賞
衛星データを活用した漏水リスク評価管理業務システム
株式会社天地人

農林水産大臣賞
200年守り抜いた農業用水にスマート技術をオンしさらなる未来に継承する
立梅用水土地改良区

農林水産大臣賞
「やまぐちの農業農村」に関するインフラ総合管理データベースの構築
山口県土地改良事業団体連合会

農林水産大臣賞
特殊バケット及びICTを活用した魚礁ブロックの移設方法
株式会社西村組・北海道水産林務部水産局水産振興



経済産業大臣賞
ボイラチューブパワースケールの分析・除去・抑制技術の確立
四国電力株式会社火力本部火力部



環境大臣賞
大山キャリアダウン・キャリアアップ運動
鳥取県西部総合事務所環境建築局



防衛大臣賞
FOD事故を防止するダクタイロ鎖鉄製グレーディングGR-U
日之出水道機器株式会社



国土交通大臣賞
宮城県上地下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）の導入
宮城県企業局



国土交通大臣賞
豪雪空港から発信する空港除雪広報活動
青森県青森空港管理事務所



国土交通大臣賞
中性子によるコンクリート塩分濃度非破壊検査の技術開発
理化学研究所

募集要項

趣旨

国民生活やあらゆる社会経済活動は、道路・鉄道・港湾・空港・電力・ガス等の産業基盤や上下水道・公園・学校等の生活基盤、治山治水といった国土保全のための基盤、その他の国土、都市や農山漁村を形成するインフラによって支えられています。

これらのインフラの老朽化が今後も進行していく中で、インフラによってもたらされる我が国の活力や生活、環境、景観、安全・安心の機能を維持していくためには、インフラのメンテナンスに国全体で取り組む必要があります。

この表彰は、我が国のインフラが直面する老朽化やその対策に必要な担い手不足の問題に対応して、インフラメンテナンスの現場における工夫やメンテナンスを支える活動、インフラメンテナンスの効果的・効率的な実施を実現した研究・技術開発の優れた成果を収めた取組の関係者を表彰するものです。

表彰の対象

以下の①～③の3つの部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者（個人及び施設管理者・企業・団体等の活動グループ）

① メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫（②に該当するものを除く）

② メンテナンスを支える活動部門

①の取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動（③に該当するものを除く）

③ 技術開発部門

調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法（点検・診断技術、モニタリング技術を含む）、材料・製品、機械、維持管理データ管理におけるインフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

表彰の種類

- 内閣総理大臣賞（全部門から1件）
- 総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、防衛大臣賞（原則各省別の部門ごとに1件、計24件）
- 情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞（1件）
- 特別賞（8件以内）
- 優秀賞（特別賞と合わせて最大32件程度）

応募期間

令和6年5月10日（金）から7月12日（金）

※応募期間中にWEBフォームでの提出を完了してください。

受賞者の発表

受賞者の発表は令和6年冬頃を予定しています。受賞者及び受賞内容については、連絡担当者あてに通知します。

※受賞者に対して表彰式を行います。表彰式等の詳細については追って公表します。

応募方法

応募はWEBフォームからの受付のみとなります。

[WEBフォームよりエントリー]

WEBフォーム上にて応募者情報の登録及び応募書類のアップロードをお願いします。以下のホームページよりログインの上、作成した応募書類をフォーム上にてアップロードしてください。

ホームページ：<https://www.im-award-form.jp/>



お問合せ先

国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課 インフラメンテナンス大賞担当
電話番号:03-5253-8912 メールアドレス:hqt-taisho@gxb.mlit.go.jp